

6月16日から23日まで第2回定例議会が開かれ、副町長の選任、教育委員会教育長・教育委員会委員・農業委員会委員14名の任命、固定資産評価審査委員会委員3名の選任について、全て原案のとおり同意しました。また工事請負契約の締結1件、専決処分11件（条例2件・平成28年度補正予算9件）、条例の改正6件、平成29年度補正予算3件が提出され、全て原案のとおり可決・承認しました。選挙管理委員・同補充員もそれぞれ4名選ばれました。

一般質問は、7議員が行い、町執行部の取り組み等を問いました。

決まりました



第2回定例議会

●副町長の選任同意

小早川幸信氏（三佐）の選任に同意しました。任期は、本年7月1日から4年間です。
（賛成全員）

●教育委員会教育長の任命同意

湯川宗一氏（土生）の任命に同意しました。任期は、本年7月8日から3年間です。
（賛成全員）

●教育委員会委員の任命同意

林千栄氏（下田原）の任命に同意しました。（任期4年）
（賛成全員）

●農業委員会委員の任命同意

農業委員会等に関する法律が改正され、今までの公選制から、推薦・応募による町長の任命制となり、次の方々の任命に同意しました。（任期3年）

玉置貴之氏（中津川）
柏木敏昭氏（土生）
大嶋徳男氏（小熊）
三原弘光氏（三百瀬）
久保孝夫氏（山野）
木下和昌氏（和佐）
川越安信氏（松瀬）
龍田雅人氏（船津）
大澤恵氏（高津尾）
中井育子氏（高津尾）
小瀬涉氏（小釜本）
朝間一行氏（浅間）
福本展一郎氏（愛川）
福島康充氏（寒川）
（賛成全員）

問 農業委員候補者の選定に至る経過はどうか。また、それらの担当地域の割り振りはどうか。

答 町広報等により公募し、応募、推薦された方々を評価委員会で行った。その後14名の農業委員の他に、今回は農地利用最適化推進委員を11名選定し、町内各地域において活動する。

●固定資産評価審査委員会委員の選任同意

引き続き、次の方々の選任に同意しました。（任期3年）
鳥居宏行氏（平川）
高尾和宏氏（船津）
藤並慶吉氏（熊野川）
（賛成全員）

●工事請負契約の締結

（平成28年度繰越・町道小桑越内線越内橋橋梁災害改良工事（上部工））
指名競争入札により、株式会社古部組が、5,572万8千円で落札し、

契約するものです。
（賛成全員）

●職員定数条例の一部改正【専決】

本年4月1日から、監査委員事務局が、議会事務局から総務課へ移行するため改正するものです。
（賛成全員）

●職員の給与に関する条例の一部改正【専決】

本年4月1日から新たに社会福祉士及び学校司



越内橋橋梁災害改良工事

書の職員を採用することから、等級別基準職務表の改正をするものです。

(賛成全員)

問 社会福祉士、学校司書の昇給はどうなるのか。

答 一般職員として行政職給料表(二)に応じて昇給していく。

問 一般職員と現業職員の給料表の一本化についての考えは。

答 研究する必要がある。

● 税条例の一部改正

地方税法等の一部改正により、住民税の控除対象配偶者の定義変更規定の整備や、固定資産税のわがまち特例の割合を定める規定、軽自動車税におけるグリーン化特例の延長などの改正を行うものです。

(賛成全員)

問 固定資産税のわがまち特例の新設の内容はどうか。

答 小規模な保育事

業を行っている場合は、家屋と償却資産について2分の1の額になる。

● 町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、軽減に係る所得判定基準額の引き上げと税率等の改正を行うものです。

(賛成9名)

問 国保の県一本化により医療格差が生じないのか。

答 市町村によって計算方法が異なるので負担が変わるが、医療費も大きくなり、県一本化もそれに対応する方法であると考える。

● 町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正により、地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置について、対象業種のうち情報通信技術利用事業を除く外し、農林水産物等販売

業を追加する改正を行うものです。

(賛成全員)

● 町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行により、3月議会に上程しました内容中、主任

介護支援専門員の更新研修を受講する時期が不明確等であったため所要の改正を行うものです。

(賛成全員)

● 町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律及び児童福祉法等の一部を改正する法律による児童福祉法の改正により、養子縁組里親の法定化等の所要の改正を行うものです。

(賛成全員)

● 町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定め

る政令の一部を改正する政令の施行により、一般職の職員の給与に関する法律の改正による扶養手当の支給額が段階的に変更されたことに伴う所要の改正を行うものです。

(賛成9名)

● 平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算【専決】

本年4月1日に町簡易水道事業から上水道事業になることに伴い、平成28年度については、3月末日をもって打ち切り決算となるため、不用額の調整を行うもので、歳入歳出それぞれから4,177万円を減額し、予算総額をそれぞれ7億4,768万7千円とするものです。

(賛成全員)

問 防災対策基金積立金の目的は何か。

答 防災に力を入れるべく、ハード・ソフト両面を考えて、今後充当していく。

● 平成28年度笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出それぞれから38万4千円を減額し、予算

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、

で増額したほか、余剰金を公有財産管理基金及び防災対策基金積立金に積み立てたものです。歳入歳出それぞれに2億2,876万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ98億6,126万8千円に増額するものです。

(賛成全員)

問 地域おこし協力隊の人件費等の削減の理由は。

答 応募があつたが、残念ながら採用に至らなかった。

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出それぞれから460万円を減額し、予算総額をそれぞれ9,564万5千円とするものです。

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、

総額をそれぞれ224万5千円とするものです。

(賛成全員)

問 防災対策基金積立金の目的は何か。

答 防災に力を入れるべく、ハード・ソフト両面を考えて、今後充当していく。

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出それぞれから460万円を減額し、予算総額をそれぞれ9,564万5千円とするものです。

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、

(賛成全員)

● 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、

歳入歳出それぞれから390万円を減額し、予算総額をそれぞれ6,224万9千円とするものです。

(賛成全員)

●平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算

【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出それぞれから450万円を減額し、予算総額をそれぞれ2億5,363万8千円とするものです。

(賛成全員)

●平成28年度介護保険事業特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、その中で余剰金1,075万5千円を介護給付費準備基金に積み立て、歳入歳出それぞれから1億544万5千円を減額し、予算総額をそれぞれ11億8,414万7千円とするものです。

(賛成全員)

問 保険給付費の減額した理由は。

【答】 年度毎の予算は、前年度の見込額に対して6%の伸びを加算して予算を立てている。また各サービス事業などが、見込みより少なくなったことによる。

●平成28年度下水道事業特別会計補正予算【専決】

決算見込みに基づき予算の調整を行ったもので、歳入歳出それぞれから1,102万5千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億6,715万2千円とするものです。

(賛成全員)

●一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに2億9,920万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ87億5,920万4千円とするものです。主なものとして、定住促進空き家改修事業1,350万円、コミュニ

ティ助成事業1,720万円、水道事業会計への繰出金1億5,468万

8千円、農業振興補助金2千万円、山野小学校ラウンジルーム改修工事940万円、4月17日から18日にかけての大雨被害による農地農業用施設災害復旧費に3,325万8千円を計上するものです。

(賛成全員)

問 定住促進空き家活用事業は、入居者が決まっていない段階で改修するのはなぜか。

【答】 総務省の定住空き家活用事業に基づいて実施する。民間の空き家を10年以上町が借り上げ、その住宅を改修するもの。

補助対象の限度額が1戸当たり400万円。1事業を展開するためには3戸以上が必要となる。空き家の選定には、基幹集落のなかに点在する住宅と定められている。

空き家で傷んでいる台所、風呂、トイレの改修、

浄化槽の設置など重点的に改修しておきたい。

今回、3戸を計上し、モデルとして実施したい。【問】 農地保全対策支援事業として、新たに非認定農業者にも農業機械への補助がされる。対象となる要件に経営面積が、中津、美山地区は10a、川辺地区が30aとなっている。同一にすべきではないのか。

【答】 全ての農家を対象とすると門戸が広がる

すぎるため、ある程度制限を設けることにした。

議会からの意見を受け、運用については再度検討する。【問】 山野小学校ラウンジルーム改修事業は、28年度の事業であったがなぜか。

【答】 28年度は調理器具の撤去のみで、土間の状態になっている。今回、給食室内の解体、天井改修、建具、床張り、給排水、空調設備が主な

工事となる。

【問】 川辺西小学校の体育館外壁改装が社会教育施設として予算化しているが、学校施設ではないのか。【答】 町民体育館として建築した経緯があり、保健体育費の予算に計上した。

【問】 短期滞在施設利用は、町の施設を利用するののか。【答】 空き家活用事業の前提として、日高川町に興味を持った方に、一定期間町で暮らしてみる住宅を用意するもの。

寒川のグリーンキーパーハウス2室を活用したい。期間は30日程度をメドにしたい。【問】 ジビエ工場の備品購入は、スライサーと真空包装機だが、中津と猪谷に同様の備品が置いてあるが、活用しているのか。

【答】 今回の備品は、中津に真空包装機1台、



猪谷にスライサーと真空包装機を配備する。

猪谷のジビエ工房は、地域おこし協力隊の方が、狩猟免許を取得し、地元狩猟会の協力を得て、解体方法を習得した。保健所の食肉解体業、販売業の許可も得、現在販売も行っている。

中津は、食肉販売を県が認定するプレミアム和歌山に登録、認定され、今後も認知度が高まり、施設の稼働も多くなると考える。

いずれの機械も経年劣化により買い替えるもの。

問 学校運営協議会の事業、きのくにコミュニケーションスクールとは何か。

答 学校と地域が連携した取り組みを推進するために、今年度丹生地区で中学校1校と小学校3校、そして美山地区で中学校1校と小学校3校、合わせて8校で取り組む。学校や地域が抱える様々な課題を解決するた

めの事業である。県からは3年間で全ての学校でつくる計画が出ている。

●後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出それぞれに11万円を追加し、予算総額をそれぞれ2億6,171万5千円とするものである。

問 保険料償還金及び還付加算金を計上するものである。

答 厚生労働省の保険料算定に用いる電算システムに不具合があったことが、昨年12月27日発表された。

本来軽減されるものが、軽減なしに判定されたため、過大賦課された方に保険料を還付する。

●水道事業会計補正予算

愛徳浄水場送水ポンプの修繕及び緊急時用連絡管等整備工事を計上するものです。

補正後予算の総額は、収入として、事業収益2億3,671万4千円、

資本的収入3億7,122万円、支出として、事業費3億8,214万3千円、資本的支出4億216万9千円とするものです。

(賛成全員)

問 水道への職員の配置は、町から公営企業への出向という体制はとらないのか。

答 公営企業法では、人口規模が小さい場合、水道事業管理者は置かず、町長を管理者とできる。

職員については公営企業会計に、事務局職員4人としている。

問 愛徳浄水場送水ポンプの修繕の内容は。

答 ろ過、減菌した水を配水池へ送るポンプが2台あり、交互に運転している。2号機の電動バルブが故障し、現在1号機のみで運転している。19年近く動いているの

で、能力も落ちている。

今回、電動仕切り弁とポンプの本体を更新したい。

問 緊急時用連絡管整備工事の内容は。

答 災害に強いまちづくりとして、緊急時に、隣接する区間の水を相互に連絡する事業である。

川辺地区と早蘇地区、船着地区と早蘇地区、船着地区と川中地区の3ヶ所です。

緊急時に断水区域の範囲を縮小できることと、

給水拠点の確保ができることで、給水車による給水活動の範囲が狭まる利点がある。

各施設の末端の口径、高低差、距離を総合的に判断して、川辺地区と早蘇地区をつなぐルートは、

和佐と松瀬の間、県道船津和佐線約700mを計画している。

船着地区と早蘇地区をつなぐ2ヶ所を実施する。

つなぐルートは、平川と船津の間、県道御坊美山線約800mを計画している。

船着地区と川中地区をつなぐルートは、坂野川

地内、県道たかの金屋線約900mを予定している。

29年度、30年度、2ヶ年で実施する予定で、29年度は川辺地区と早蘇地区、船着地区と早蘇地区をつなぐ2ヶ所を実施する。

●選挙管理委員及び同補充員の選挙

次の方が選ばれました。(任期4年)

【選挙管理委員】

清水章博氏(小熊)
古田 誠氏(寒川)

岡 英利氏(船津)
井領研二氏(和佐)

【補充員】

中畑昌昭氏(江川)
垣内茂夫氏(平川)

佐々木幸生氏(高津尾)
遠藤康之氏(皆瀬)

(賛成全員)



愛徳水道浄水場